

平成28年度 第1回蕨市健康づくり推進会議 会議録（概要）

日時	平成28年7月26日（火） 午後1時30分～3時
会場	蕨市保健センター 2階 健康教育室
出席委員（敬称略）	吉岡 幸子（会長）、金子 健二（会長代理）、白根 雅之、庄 喬、 島袋 洋子（田中 義枝 委員代理）、庄野 孝子、岡村 増美、澁谷 佐知子、 植田 富美子、池田 睦、藤川 昌弘、加山 千恵子
欠席委員（敬称略）	寺内 幸恵、野崎 淳子
事務局	部長：関 久徳 所長：石丸 岳広 保健指導係長：小林 桂子 保健師：清水 佳代 保健師：影澤 由美子
会議次第	1. 開会 （1）委員・事務局職員の紹介 （2）議題 1）平成27年度事業報告について 2）平成28年度事業計画について 3）その他 3. 閉会
資料	平成28年度 第1回蕨市健康づくり推進会議 次第 「わらび健康アップ計画」平成27年度事業報告 リーフレット「わらび健康アップ計画情報紙（2016）」 「わらび健康アップ計画」平成28年度事業予定 育メン講座チラシ

【委員・事務局職員の自己紹介】

【傍聴希望について】

本日傍聴希望者なし。

【議題】

(1) 平成27年度事業報告について事務局より説明。

会 長：ご意見・ご質問等あればご発言いただきたい。

委 員：今年度からモニターに参加している。拠点となるステーションが市役所内等ではなく、銀行内にあるので、今後も続けていただきたい。実際モニターに参加してみて、意識しないと中強度の運動にならないと分かった。今年度は定員200名目標だと聞いているので、呼びかけをしてもらいたい。

事務局：今年度は目標の人数よりも多く、継続・新規モニター合わせて210名の申し込みがあった。

(2) 平成28年度事業計画について事務局より説明。

会 長：ご意見・ご質問等あればご発言いただきたい。

委 員：親に対する食育が大事だと感じている。

委 員：親への食育も大事で、学校で年3回学校保健会を開催し食育を実施している。全校に呼びかけているが参加者は全体の1割程度で少ない。その後保健だより等で啓蒙していた。

会 長：子どもに対し予防的・教育的視点での食育講座を開催していると思うが、親に対しての教育も必要であろう。

委 員：食生活改善推進委員会は、保健センターで開催している講座に協力させてもらっている。

事務局：今回の小学生の食育講座は、学校教育に協力してもらい合宿等の日程を避けて、「給食メニューを自分たちで作ってみよう」と呼びかけたところ、応募が多かった。

委 員：講座を今後継続していくことで、定着していくのではないかと思う。

委 員：11月15日に断酒会と協賛し、講演会を開催するが、蕨市で実際断酒会として活動しているのか。

会 長：断酒会は全国組織で、歴史は長い。埼玉県も様々な団体があったが、今は断酒新生会支部があり、県南・東部・南部など組織として活動している。活動は月に1回以上で、匿名で活動している人も多い。

委 員：実際に子どもに対してのタバコやアルコールの教育に関わっているが、子どもの時から予防教育をするのも大切だと感じている。

委 員：健康長寿埼玉モデルについて、昨年の結果から効果がみられたということであれば、モニターの方だけでなく、広く市民に周知し、有料でも参加してもらい、より多くのデータを集め検証してはどうか。

事務局：この事業は県のモデル事業で、県としては人数を増やすというよりも現在のモニターの人数で成果をみて、成果を示して啓発していくという流れになると考えている。

委 員：収集するデータが多い方が、成果に信憑性があるのではないか。

事務局：蕨市としては、モデル事業なので県の方針に沿ってやっていきたいと考えている。また、

事業終了後3年間の成果を示し、終了後の継続方法を考えていきたい。

委員：活動量計を購入し、意識して運動するようになった。よいものだと思うが、購入するのに7000円程度かかるため、市の補助などあれば購入しやすいと思う。

委員：モニターの比較対象になる一般の人に対し、運動等の指導はしたのか。

事務局：実施していない。モニターの比較対象の人は、蕨市の国民健康保険に加入している人でモニター開始前にモニターの人と年齢・性別・医療費等が同程度の人を比較対象として分析している。

委員：比較対象になった人がもともと持っている疾患等でも変わってくると思うので、本当に比較対象に選ばれた人がモニターの人と比較するのに妥当なのか検討が必要である。また、結果の妥当性を高めるためにも県の方法だけでなく、蕨市独自にモニターの人数を増やし分析するのも一つの方法だと思う。

委員：昨年参加したが、モニター前後に体力測定・血液検査があったり、月に1回ステーションに行かなければならなかったりと時間が必要なため、忙しいと参加するのが大変だった。また、疾患を持っていると推奨されている1日8000歩中強度の運動20分というのは難しいと思う。

事務局：1日8000歩中強度の運動20分を推奨しているが、個々人に合わせて運動量を設定するようにしている。

会長：さまざまな意見があるが、それらも含めて分析し、検討していくことになると思う。

事務局：今回はよい結果になっているが、長期間経過をみないと本当によい方法なのかは分からないと考えている。

委員：モニターに参加したが、途中で中止した人の意見も重要だと思う。

会長：平成28年度の事業計画について、承認でよろしいか。

委員：一同承認。

(3) その他

事務局：育メン講座を今年度初めて実施する。機会があれば多くの人に声をかけていただきたい。次回の会議は11月中旬以降を予定している。